

視聴覚教育

NO. 241
 発行日 10. 3. 13
 発行 岡崎市AVL
 編集 現職教育委員会
 視聴覚部

この一年の歩み

視聴覚指導員 内田 義和

本年度の特筆すべきこととしては、九月二十五日に文部省初等中等局・近藤信司大臣官房審議官、河村潤子中学校課長の、視聴覚ライブラリー、情報ネットワークセンター、竜美丘小学校、福岡中学校への訪問があげられる。ここでは高度情報通信社会に対応する学校の取り組みを視察していただくことができ、岡崎の視聴覚教育の実績と歩みの確かなことを認めていただけた。

活動面では、全国自作視聴覚教材コンクールにおいて、文部大臣賞（五年連続）二点、優秀賞二点、入選一点を受賞したのをはじめとして、愛知県自作視聴覚教材コンクールにおいても最優秀賞一点、優秀賞三点、優良賞二点、佳作四点を受賞した。日本視聴覚教育賞論文においては、新香山中学校が文部大臣賞を受賞した。

施設・設備の整備では、視聴覚ライブラリーのデジタルビデオライブラリースステムの拡充と市内全小中学校へのパソコン室設置完了があげられる。視聴覚ライブラリーでは、今年度、

視聴覚用語
 「DVD」
 デジタル・バーサタイル・ディスク (Digital Versatile Disk)。従来はデジタルビデオディスクと表記していた。CDと同じ大きさの光ディスクではあるが、従来に比べて格段の容量を持つ。画質・音声とも、レーザーディスク以上の高品質である。

DVD（デジタル・バーサタイル・ディスク）への映像資料の蓄積を進めるとともに、プログラムによって送出できるシステムを構築した。また、今年度は十九の小学校へパソコン室が設定された。これと並行して、情報開発センターによる小学校教員パソコン研修が開設されたり、情報教育主任会によるパソコン講習会が開催されたりした。

一方、教育メディア委員会は、マルチメディア開発事業を推進した。特に「教育ネットワーク整備推進事業実践授業」を、情報ネットワークセンター、美川中学校、矢作中学校を結んで実施したことがあげられる。ここでは生徒が各種のデータベースを活用したりTV会議システムを利用して学習を進めた。

また、文部省などのマルチメディアにかかわる研究指定等を受ける学校も多かった。本年度は城北中学校、甲山中学校、新香山中学校が、それぞれの分野で指定を受け研究を進めた。

今年度も、このように多方面ですばらしい成果を残すことができ、岡崎の視聴覚教育の質の高さを示すことができた。

II 視聴覚教育あれこれ II

市内全小中学校へ パソコン室設置完了！

岡崎市の平成九年度小学校パソコン教室整備事業として、新たに梅園小学校をはじめ十九校に、各校十一台を基本に（教師用一台、他児童用）、パソコンが導入された。

今年度設置校

梅園小 根石小 男川小 羽根小 岡崎小
 六名小 三島小 連尺小 愛宕小 福岡小
 常磐南小 恵田小 大樹寺小 大門小
 矢作西小 六ッ美北部小 城南小 上地小
 北野小

これで市内の全小中学校へのパソコン室設置が完了した。

OS（オペレーティングシステム）としては、今年度もWindows 95が利用できる機器が導入された。教師用ソフトとして、昨年度の設置校と同等に、教材ソフト、教材作成ソフトやデータベースソフトを中心に整備されている。児童用のソフトには、統合ソフトをはじめ、各教科・領域の教材ソフトが配布されている。

中学校に引き続き、小学校においてもパソコンリテラシーの育成や授業での活用が期待されている。



手話ビデオによる

聾学校との交流

六名小 土井 孝夫

福祉実践教室での体験をきっかけに、手話や点字に興味を示した子供たち。そこで、本校の五年生は「私たちにもボランティア活動ができるね」という題材を設定し、主に道徳と特活を組み合わせた計画を立て、実践を行った。手話の先生に何回か教えていただくうちに、覚えた手話を使って耳の不自由な人と交流してみたいという思いが高まり、さっそく、ビデオカメラに手話を使った子供たちのメッセージを収め、岡崎聾学校の子に届けようということになった。伝えたい内容に合わせて、本で調べた手話を懸命に覚え、リハーサルを終えていよいよ撮影。後日、楽しみにしていた聾学校の子からの感想を、聾学校の先生が、ビデオに収めて持ってきて下さった。

「大きく口を開けて、笑顔でやってほしい。」
 「顔の近くで手話を示してほしい。」
 など、たくさん注文が相次いだ。
 「もっと工夫し、分かってもらえるようもう一度ビデオを作りた



い。」
 と、強く願う子が多く、再び撮影に挑戦した。

今度は、手話を示す手が下がり過ぎないように画面枠を作ったり、指し棒を活用したりするなど、子供たちが工夫を凝らし、手話ビデオレターを制作した。

本校の子供たちと聾学校の子供たちの交流にビデオカメラを大いに役立てることができた。

レッツ・トライII

アンインストール

パソコンのハードディスクがいっぱいで、空き容量が不足すると、使いたいソフトがハードディスクに入らなかったり、エラーが発生して動作しないことがあります。こうした場合、ハードディスクから不要なソフトウェアを削除して空き容量を増やしますが、不用意にファイルを削除すると、今度は他のソフトウェアが動作しなくなったり、ウィンドウズが起動しなくなることもあります。これは、ウィンドウズでは複数のソフトウェアでファイルを共有することが多く、他のソフトウェアに必要なファイルまで削除してしまったからでしょう。ソフトウェアを削除する際には「アプリケーションの追加と削除」や専用のアンインストールプログラムを使用し、共有ファイルを削除しないように注意してください。

(情報教育主任会 広報部)

ライブラリーだより

県自作視聴覚教材コンクール結果

愛知県教育委員会・愛知県視聴覚教育連絡協議会が主催する平成九年度愛知県自作視聴覚教材コンクールには、本市からビデオ教材七点、スライド教材二点、マルチメディア教材三点を応募し、結果は次の通りであった。

☆最優秀賞

【おならのへいさん】(幼稚園) (スライド) 市立幼稚園現職教育部

☆優秀賞

【三河の林業】(小5社) (ビデオ) 岡崎市AVL・自作委員会

【化石が語る太古の海】(中3理) (ビデオ) 岡崎市AVL・自作委員会

【ビメハルゼミ―山中八幡宮の生きた化石―】(一般) (ビデオ) 岡崎市AVL・自作委員会

☆優良賞

【戦争と市民生活】(小6社) (ビデオ) 岡崎市AVL・自作委員会

【三角形の合同】(中2数) (マルチメディア) 矢作中学校 小川 規博

☆佳作

【水道水をつくる努力】(小4社) (ビデオ) 岡崎市AVL・自作委員会

【ゴミを見直す―リサイクルプラザの取り組み―】(小4社) (ビデオ) 岡崎市AVL・自作委員会

【Jofit English ―HOP STEP SHOPPING―】(中2英) (ビデオ) 岡崎市AVL・自作委員会

【岡崎の伝統工業】(小5社) (マルチメディア) 藤川小学校 小田 哲也

※編集後記※

今年度も月報『視聴覚教育』に、さまざまな実践例やご意見をお寄せいただきありがとうございました。来年度も一層の内容の充実を図り魅力ある紙面にしていきたいと思ひます。